

2014年度以降入学の留学生（日本語を母語としない学生）は、武蔵野BASISの外国語科目（必修または選択必修）に代えて、以下の日本語科目を履修することができます。

区分	科目名	学年	単位	開講期間	文学部 法学部法律学科(2019年度以降入学生) 経済学部 (2018年度以降入学生) 経営学部 人間科学部 環境学部 工学部 教育学部	法学部法律学科(2018年度以前入学生) 法学部政治学科 経済学部 (2017年度以前入学生) データサイエンス学部
日本語科目	日本語1A	1年	1	1学期	●外国語 1 A～1 D ●外国語 2 A～2 D (合計 8 単位)	●英語 1 A～1 D ●英語 2 A～2 D ●英語 3 A～3 B (合計 10 単位)
	日本語1B	1年	1	2学期		
	日本語1C	1年	1	3学期		
	日本語1D	1年	1	4学期		
	日本語2A	2年	1	1学期		
	日本語2B	2年	1	2学期		
	日本語2C	2年	1	3学期		
	日本語2D	2年	1	4学期		
日本事情	日本事情1	1年	2	前期	自由選択科目に算入 ※外国語や英語に代替はできません。	10単位を超えて取得した単位は 自由選択科目に算入
	日本事情2	1年	2	後期		

■日本語 1 A～1 D、日本語 2 A～2 D

主に留学生を対象にし、日本語を母語としない学生のみ履修することができます。

「日本語1A～1D」は進級基準科目に該当しません。ただし、グローバル・コミュニケーション学部、法学部、経済学部、経営学部、データサイエンス学部においては、各学科の外国語必修科目に対応するものとして「必修未修得2科目以内」の条件の対象となります。

■日本事情 1・2

日本語を母語とする学生については、2015年度以降入学生に限り、自由選択科目として「日本事情 1・2」を履修することができます（グローバル学部、薬学部、看護学部の学生を除く）。

ただし、自由選択科目の区分のない学科では、取得した単位は卒業所要単位に含まれません。

※グローバル学部の留学生は、学科の開講表を確認してください。